



## 学力向上は「考えること」から！

教頭 新田見 誠

葛塚小学校は、2018年度・2019年度の2年間、文部科学省（国立教育政策所）の研究指定校に選ばれました。研究教科は、「国語科」です。昨年度は、12月13日（金）に研究会を開催し、文部科学省の方や他校の先生方100名以上が参加する研究会を開催しました。

この指定を受け、私たちが一番大事に考えたことは、「子どもたちの読む力を高める」ことです。研究の結果、授業のポイントを二つ紹介します。

### ◆ポイント1……「Which型課題」

授業の中で、教師が子どもたちに投げ掛けるときに、下記の①と②のどちらが良いかを検討しました。

①	「筆者の伝えたいことは、Aの文とBの文のどちらですか？」
②	「筆者の伝えたいことは、何でしょう？」

昨年度は、①のような投げ掛けを多くしました。この投げ掛けにより、子どもは、AとBの二つを比べて考えます。そして、良い方を選びます。その際、子どもは自然に選んだ理由も考えます。つまり、教師が具体的に子どもに投げ掛けると、子どもは「よく考える」ことが分かりました。「よく考える」ことが、学力向上のポイントだと確信しました。

### ◆ポイント2……「子どもとつくる授業のゴール」

①	「今日は、教科書から説明するときのコツを見つけ、そのコツを使ってみよう。」
②	「今日は、教科書の〇〇ページを学習します。」

昨年度は、①を重視しました。子どもが、授業の最後までに、何を学習するかが明らかになると、子どもが「よく考える」ことが分かりました。

上記のことは、昨年度の実践の一部です。研究の成果は、子どもが「考えること」を大事にした授業を行うと、学力も向上するということです。昨年度の全国学力・学習状況調査において、葛塚小学校の国語科では、全国平均でも新潟市平均でも、得点率で上まわり、確実に向上しました。葛塚小学校の子どもたちの頑張りや、すばらしさを改めて実感しています。

今年度からは、葛塚小学校の研究教科は「算数科」になりました。国語科の研究で得た成果を生かし、さらに算数科の力も向上するよう、教職員がアイデアを出し合い、全校体制で取り組んでいきます。



## 〈学力向上部〉

### 算数 自分の考えをもち、伝え合う子どもの育成

今年度は学習指導要領が改訂された最初の年となります。今回の指導要領で大切にされていることが、「主体的、対話的で深い学び」です。この「主体的、対話的で深い学び」が実現された姿が、「自分の考えをもち、伝え合う子ども」になります。今年度は算数で研究を行います。根拠をもとに、図や式、表などを使って筋道立てて考え、それを友達と生き生きと伝え合うことで、自分の考えを広げたり深めたりする子どもを目指します。このような学習を積み重ねていくことによって、子どもたちにとって、将来、役に立つような学力を付けることができると考えています。

また、新型コロナウイルスの影響で前学年に学習できなかった内容も、この1年間できちんと終わらせるように計画しています。そのため、学習方法や単元の構成を工夫します。家庭でも学習できる漢字練習などは宿題等の形で出されることも多いと思われそうですが、ご理解とご協力をお願いいたします。

このような大変な状況下ですが、子どもたちには楽しく、身になる学習を達成させるため、様々な工夫をしていきます。



(学力向上部 主任 塚本 剛)

## 〈生活指導部〉

### 「規律」と「信頼関係」を重視した指導を全職員で行います

今年度より、生活指導部と部会名を改めました。生活指導部の目標は、子どもたちが安心・安全な学級で過ごせるようにするために、「規律(Rule)」と「信頼関係(Relation)」の2つの“R”を重視した生活指導を日常活動の中で担任および担任以外の全職員で行うことです。そのための手立てとして次の2点に取り組んでいきます。

#### ◎ きまりやマナーを守ることに、自分や友達、学級のよさを振り返る場を設ける。

これまで行われていた学級力アンケートは今年度も継続します。そこで、学級における話し合いの際には、「葛塚小学校の約束」を基に、きまりを守ることに目向けさせ、自分たちの学級はきまりやマナーを守っているかを学年の発達段階に応じて振り返らせていきます。そうすることで、きまりやマナーを守る規律のある学級や学校で過ごす安心感に気付かせていきたいと考えています。

#### ◎ 成長を促す指導・いじめ等に対する予防的な指導を行う。

規律を守らせるときに、厳しく指導をすることはあります。しかし、教師との信頼関係を築く上では、社会に適応した正しい行動のコツを教え、児童を支えることが必要となるでしょう。そこで、社会に適応した正しい行動のコツを学級内で教える指導(SEL)を行います。例えばあいさつなどの基本的な生活習慣や、友達との関係づくりについて、問題が起こる前に予防的な指導として取り入れます。さらにこれまで行ってきたお互いのよさを認め合う「振り返りの場」の設定、帰りの会等での「キラリさん」や「ほめシャワー」などを行い、認め合う気持ちを育てていきたいと考えています。

(生活指導部 主任 西村 和代)

## 〈特別支援教育部〉

### 今年も葛小UDスタンダード10に取り組みます

今年度も、教育におけるユニバーサルデザイン(UD)の視点を入れた取組を行います。

環境①	授業の始まりと終わりの時刻を守る。(ゴールの時刻を守る。)
②	教室前の掲示物は、教育目標、「聞くこと・話すこと」、「プレートのボード」(一日の流れ・1時間の流れ)の3枚とする。
③	学習用具やファイル類の置き場所を決め、片付け方を文字や写真で明示する。(ロッカー・ボックス)
④	提出物の置き場所を明示する。
⑤	休み時間や教室を空ける時、下校時は、椅子を入れさせる。
授業⑥	授業(単元)のゴールを示し、方向付ける。
⑦	発問や指示は一時に一事にする。
⑧	視覚教材などを活用し、引きつける工夫をする。
⑨	課題が終わった後にやるべきことを用意し、空白の時間をつくらない。
⑩	教師に注目させてから話をする。(体育は教師が手を挙げ、黙って手を挙げたら話をする。)

どの子も分かる授業と集中できる環境作りをするため下のような10個の項目(葛小UDスタンダード10)の取組を全校体制で行います。特に今年度は、①の「授業の始まりと終わりの時刻を守る。」と⑥「授業(単元)のゴールを示し、方向付ける。」です。授業の始めにどんなことをするのか、授業の終わりにはどんなことができるのかを、子どもたちに示すことで、子どもたちに授業のイメージが浮かびます。授業の終わる時刻が分かることで、計画的に学習を進められます。葛小UDスタンダード10を有効に活用して、誰もが安心して学べる授業・環境作りを進めます。

(特別支援教育部 主任 布施 和法)

## 〈健康体力部〉

### キーワードは、「運動量」「生活実態を踏まえる」

目標達成のための手立てとして、以下の2点を実施します。

- ◎ **全校統一カードの活用と職員向けの体育実技講習を実施して、運動量を確保した授業を目指す。**  
6年間を見通した全校統一の学習カードを用いることで、自分の目標を明確にさせやすくします。また、職員に向けた体育実技講習会を年に数回行い、職員に対して運動量を確保した体育授業についての共通理解を図ります。そうすることで、体育の授業で自分の目標達成に向かって、たくさん体を動かす姿を目指します。
- ◎ **生活チェック週間を通して、家庭と連携して生活習慣の定着を図る。**  
年3回の生活チェック週間(ばっちり・にっこり・すっきりカード)を通して、食事や生活習慣の大切さについて家庭と連携して指導していくことで、自分の課題を改善しようとする姿を目指します。昨年度に引き続き、生活実態を踏まえて目標となる就寝時刻を各家庭で設定する取組を行います。また、養護教諭による指導や個別懇談会で各家庭に睡眠の大切さを呼び掛ける取組などを行います。ご家庭でも生活習慣の定着に向けての取組のご協力をよろしくお願いします。

(健康体力部 主任 本間 伸吾)

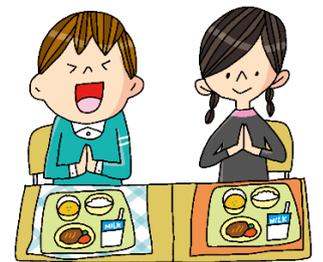
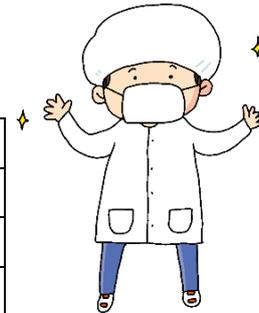
## 〈食育部〉

### 食を通じて豊かな心と健康な体作りを目指します

成長期にある児童の心身の健全な発達のために、安全で栄養のバランスがとれた食事を提供するとともに、学校給食を身近な生きた教材として活用するなど、食育の取組をすすめていきます。今年度の食育の取組については下記の内容となります。

#### ◎給食の指導を計画的に行います。

4月	給食の約束や決まりを守ろう
5月	食事のマナーを身に付けよう
6月	健康によい食べ方をしよう
7月	安全と衛生に注意して食事をしよう
8・9月	能率的な準備や後始末を工夫しよう
10月	マナーを守り、楽しく会食しよう
11月	バランスよく多くの食品をとろう
12月	規則正しい食生活をしよう
1月	感謝して食べよう
2月	とり過ぎや不足しがちな栄養に注意しよう



#### ◎給食時間を活用して指導を行います。

- ・給食委員会が当日の献立から料理や栄養・食品に関する内容の一口メモを放送します。
- ・年間指導計画に基づき、月ごとの目標に合った内容について、学級で指導を行います。
- ・楽しい雰囲気できれいなお食事が出来るようにあいさつやマナー等についての指導を行います。

#### ◎リクエストメニューを実施します。

- ・家庭科の授業で栄養のバランスがとれたメニューを6年生に考えてもらい、給食で実施します。

#### ◎健康体力部と連携して食育の取組を行います。

- ・栄養のバランスが取れた食事への意識付けを行い、自分の食生活を見直し、健康な体作りに取り組みます。

#### ◎食についての情報提供を行います。

- ・家庭との連携が深まるように、食育だよりで食や健康についての情報を提供します。ご家庭でも子どもたちの健康な体作りのために、ご協力をお願いいたします。



校長室前廊下の食育掲示版

(栄養教諭 五十嵐 恵)